



とねしょうかわらばん

9月16日版

【2年生 図工】

2年生の教室をのぞくと、とても個性あふれる「たまご」を描いていました。聞くとところによると、これはただのたまごではありません。このたまごを割ると、中には不思議な世界が見えるようになるということです。完成作品はどのような「不思議なたまご」になるのか、今から楽しみです。また続きを次回以降お知らせします。



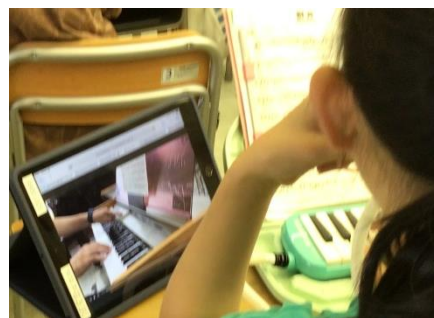
【4年生 図工】

図工室をのぞいてみますと、何やらきれいな模様を脇目も振らずに集中して描いている4年生たちです。これは「ゼンタングル」というアートで、簡単な模様をペンや鉛筆で繰り返して描くことできれいな模様が仕上がるようです。どの子どもとても細かな模様を丁寧に描いています。こちらも仕上がりが楽しみです。

【6年生 音楽】

音楽室をのぞきますと、6年生がそれぞれの楽器の練習に勤しんでいました。楽器の練習になるとどうしても苦手な子どもは諦

めてしまい、手持ち無沙汰に過ごしてしまう様子が見られるのですが、そのような子どもは一人も見当たりません。なぜならば、、、。写真に見えるiPadにご注目！それぞれの楽器の指使いや音色が何度でも再生して見られるよう、しかも楽譜を細切れにして部分練習できるよう、音楽専科教員が自ら動画を作成したとのことです。教師の期待通り、どの子ども少しずつ自分のペースで練習を繰り返しています。



【PTA主催生き物観察会】

9月10日（土）に、PTA主催による生き物観察会が本校のビオトープで開催されました。虫でおなじみの刀根山高校の松本先生から、校区に生息する生き物について教えていただきながら子どもたちは生き物と触れ合いました。松本先生が当日お

持ちくださったメダカは、なんと弥生時代から刀根山校区に生息しているメダカでした。なぜそんなことがわかるのか・・・。松本先生曰く、メダカのDNA鑑定を大学に依頼してわかったとのこと。生命のつながりの尊さを感じさせられます。